

# つくだ

学校だより No. 1  
 青森市立佃小学校  
 令和4年4月8日発行  
 ◆あかるく・かしこく・たくましく◆

全校児童数462名  
 4月7日現在



## 『友だちがいてよかったな』



校長 山田 彰利

4月4日12時から、1・3・5年生の学級発表がありました。見に来ていた2人の男の子がとてもニコニコしていました。聞くと「2人とも同じクラスになれた。」とのこと。学校生活において、友達の存在は大きいものです。昨年度の学校文集「つくだ」62号の1年生のページには、次のような詩が載っています。(一部抜粋)

「いっしょにあそぼう」といったら / かいとさんは「いいよ」といった  
 パークに行くまでは / しょんぼりだったから  
 かいとさんのおかげで / うれしくなった

学校生活を充実させる大きな要素の一つは、友達をつくることかな、と思います。新しい学年で初めて体験することも、友達と一緒に頑張れば、なんとかなります。大人だって、同僚や家族の支えがあることでパワーが湧いてくることもあります。

4月7日、新しい教室で、新しい教科書(小中学校の教科書は税金で無償配付されており、4月10日は「教科書の日」となっています)とともに、令和4年度の佃小学校がスタートしました。今年度は、1年生86名と転入生3名を加え、全校児童462名でのスタートです。子供たち一人一人のよさを認め、仲間づくりを大切にしながら、充実した1年を送れるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご協力もいただきながら、教職員一同、一丸となって教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**令和4年度 青森市立佃小学校 学校経営の方針**

<b>教育目標</b>	あかるく	かしこく	たくましく
<b>努力目標</b>	みんななかよし	豊かな学び合い	たくましい心と体

**めざす学校像**

**子供も教師も保護者も地域住民も 一人一人が輝き 活気あふれる学校**

**学校経営の重点**

- 1 日々の積み重ねを大切にされた教育活動
- 2 活動のねらいの明確化が図られた教育活動
- 3 子供のよさや可能性を生かし、プロセスを大切にする教育活動
- 4 一人一人の思いが大切にされると子供が実感できる教育活動
- 5 協働して納得解を見いだす活動を重視した教育活動
- 6 社会に、地域に、家庭に、校内に開かれ、相互の連携が図られた教育活動
- 7 小・中の連携・円滑な接続が図られ9年間の育ちを見通した教育活動
- 8 L.C.T.(Chromebook)を効果的に活用した教育活動
- 9 正しい食習慣、運動習慣を身に付けさせる教育活動
- 10 感染症対策が適切に講じられた教育活動